

今回からシリーズで語学講座の講師をご紹介します。
初回は中国語講座ご担当の劉慶普さんです。

第1回 劉慶普先生

Q 日本に来られたのはいつですか？

A. 初来日は1975年(昭和50年)、二回目は1981年(昭和56年)、そして三回目は1992年(平成4年)に来日、現在に至ります。

Q 来日された当初の日本の印象を教えてください。

A. 初来日の目的地は新日鉄大分製鉄所。大阪空港で乗継の時見たミニスカートが衝撃的でした。当時の中国は老若男女が紺かグレーの人民服一色の時代だったので、ミニスカートは着用するどころか、見るだけでも恥ずかしかったです。

二回目は北海道大学。映画『君よ、憤怒の川を渡れ』高倉健主演)でしか見たことのない熊の出没する北国と、実際に見た都会的な札幌とのギャップが大きく衝撃的でした。初めて日本人の家庭でホームステイを経験し、初めて家族の中で生の日本語を聞いて感激でした。

三回目は愛知大学。九州の大分から北海道の札幌、今回は中部の豊橋。温暖な気候、豊かな自然、綺麗な空気、静かな環境、色々な公共施設、美味しい野菜や果物、庭先の四季折々の草花、広々とした太平洋等など、何もかも新鮮で、住みやすい町だというのが第一印象でした。

Q 日本の好きなところはどこですか？

A. 空気も水も綺麗で、礼儀正しく、勤勉で真面目なところ。伝統や風習を大事にして、治安が良く、様々のボランティア活動が熱心なところ...。「住めば都」と言われるように、豊橋はもうすっかり私の第二の故郷になりました。

Q 中国について日本人に知ってほしいのはどんなところですか？

A. 一番知ってほしいのは、改革開放以来中国の日進月歩の発展ぶり。「百聞は一見に如かず」という諺があるように、実際に中国へ行って見て、自分の目で確かめるのが中国を理解するには一番良い方法ではないでしょうか。



Q 劉先生を感じる中国の魅力を教えてください。

A. 悠久の歴史、輝かしい文化、豊かな自然、数多くの文化遺産・名所旧跡、何よりその広大な国土に生活している純朴な人々の広い心とゆったりとした生活スタイルなど。

Q 劉先生の趣味は何ですか？

A. 文学作品の朗読を聴くことや音楽鑑賞が好き。編み物や手芸、洋裁も好き。特に日向ぼっこをして、好きな音楽などを聴きながら、何も考えずに編み物をするのが大好きです。花の観賞や草花を植えたりするのも好きです。

Q 休日とはどのようにして過ごされていますか？

A. 一週間溜まった家事をこなし、少し手間がかかる料理を作ったり、家族で海や山へ行ったりして過ごします。

Q 中国語を上達させる秘訣があったら教えてください。

A. 秘訣などありません。強いて言えば、繰り返しと積み重ねです。日本語にも「石の上にも三年」という諺があるように、あきらめずに続けていけば、きっと上達できると思います。

Q 語学講座受講生や会報紙の読者へメッセージをお願いします。

A. 中国では「活到老 学到老(直訳:老いるまで生き、老いるまで学ぶ)【意味】学ぶことはきりが無い」という格言があります。これはちょうど今提唱されている「生涯学習」とマッチしています。国際交流協会の語学講座の講師としての、難しい中国語を分かりやすく、楽しく教えるのが自分の務めであり、語学講座の受講生の皆さんに、中国に、中国語に、そして中国人に親しみが感じてもらえたら、生涯学習のお手伝いができたら、大げさに言えば中日両国の架け橋になれば、幸いに思います。



「中国語会話」受講生の皆さんから劉先生へのメッセージ

- ・日本語も堪能なので、説明がよく分かります。
- ・大きな声ではっきりと分かりやすく教えてください。毎回楽しみにしています。
- ・文法的なことを日本人に分かりやすく説明するのが上手。
- ・とても熱心で良かったです。毎回中国の近況を話してくださり楽しみです。

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL(0532)56-0766(代) FAX(0532)56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

うまいもんや
鯛松

Umaimonya TAIMATSU



超お得なランチ始めました。

語学講座のおついでにどうぞ。
受講生の方にソフトドリンクサービス(受講票を提示ください)

〒440-0888 豊橋市駅前大通2-33-1 開発ビルB1F
☎0532-52-8601 <http://www.taimatsu.jp>
営業時間 / 11:30 ~ 14:00 17:00 ~ 22:30(L O 21:00)
定休日 / 日曜・祝日